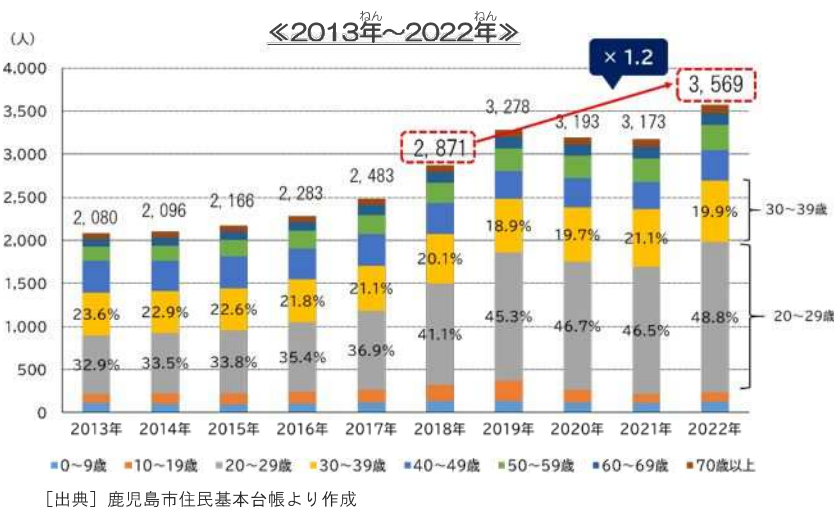


鹿児島市多文化共生推進指針【やさしい日本語版】

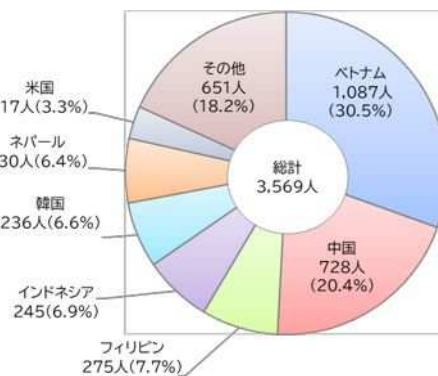
1. 指針を作った理由

- 鹿児島市に住む外国人は2022年10月1日で3,569人です。2018年は2,871人だったので、1.2倍に増えています。
- 日本では、2019年に新しく「特定技能」の在留資格ができたので、これから鹿児島市に住む外国人は、もっと増えるでしょう。そこで、国籍や民族の違う人が認め合って一緒に生活するために、「鹿児島市多文化共生推進指針」をつくることにしました。

鹿児島市に住んでいる外国人の数



《国籍・地域別 2022年10月1日》



[出典] 鹿児島市住民基本台帳より作成

2. 課題

- 言葉や文化が違うので、外国人と日本人との間で情報が伝わらないことがあります。市役所からのお知らせに、いろいろな国の言葉や「やさしい日本語」をたくさん使う必要があります。
- 外国人のみなさんが困ったときに、相談できる場所が必要です。
- 地震や台風などの災害のとき、感染症が広がっているときなどに、外国人のみなさんを守る方法を考える必要があります。
- 外国人も日本人も一緒になかよく暮らせるまちをつくる必要があります。

3. 多文化共生でめざすこと

みんなが言葉や文化の違いを認めて助け合い、外国人も日本人も一緒になかよく暮らせるまちをめざします。

4. 外国人も日本人も一緒になかよく暮らすためにやること

大事なこと	やること	やることの例
<p>I</p> <p>外国人に情報を伝える</p>	<p>生活に必要な情報をいろいろな国の言葉や「やさしい日本語」で知らせます</p> <p>外国人のみなさんが、日本語をもっと勉強をしやすくなるようにします</p> <p>外国人のみなさんが、生活で困ったときに安心して相談できるようにします</p>	<p>・ごみを分ける方法や捨てる方法をいろいろな国の言葉で教えます。</p> <p>・日本語を勉強するためのウェブサイトや、日本語を勉強する場所のことを知らせます。</p> <p>・生活で困ったときに、いろいろな国の言葉で相談できるようにします。</p> <p>・生活で困っていることやわからないことを弁護士などの専門家に相談できるようにします。</p>
<p>II</p> <p>外国人が安心して生活する</p>	<p>外国籍の子どものが安心して教育を受けられるようにします</p> <p>地震や台風などの災害のときに、外国人のみなさんを守る方法を考えます</p> <p>外国人のみなさんが、健康で安心して生活できるようにします</p> <p>外国人のみなさんが、安心して子どもを育てられるようにします</p> <p>外国人のみなさんが、住む家を探すことを助けます</p> <p>外国人のみなさんに、日本で生活のルールを教えます</p> <p>外国人のみなさんが、仕事を探すことを助けます</p> <p>外国人のみなさんが、安心して働けるようにします</p>	<p>・子どもが小学校に入るためのお知らせをいろいろな国の言葉で伝えます。</p> <p>・小学校や中学校に行く子どもに、日本語を教えます。</p> <p>・子どもたちに、国籍や民族、文化の違いを認めてみんなと一緒になかよく暮らすことを教えます。</p> <p>・地震や台風などの災害のときに、どのような準備が必要か教えます。</p> <p>・地震や台風などの災害のときに、いろいろな国の言葉や「やさしい日本語」で情報を知らせます。</p> <p>・地震や台風などの災害のときに、いろいろな国の言葉で話せるように日本人も勉強します。</p> <p>・外国語が使える病院などを教えます。</p> <p>・安心して子どもを産んだり育てたりするために大事なことをいろいろな国の言葉で教えます。</p> <p>・住む家のことで困ったときに相談できる場所を教えます。</p> <p>・市役所が貸す家に住む方法を知らせます。</p> <p>・ごみを分ける方法や捨てる方法をいろいろな国の言葉で教えます。</p> <p>・仕事を探すときに困らないように、いろいろな情報を教えます。</p> <p>・外国人のみなさんが安心して働くために必要なことを、市役所と会社などが一緒に考えます。</p>
<p>III</p> <p>外国人も日本人も一緒になかよく暮らせるまちをつくる</p> <p>住んでいるまちで活躍する外国人を増やす</p>	<p>外国人も日本人も一緒になかよく暮らす社会のことを、みんなに知らせます</p> <p>自分と違う文化を持つ人と友達になれる場所をもっとつくります</p> <p>外国人のみなさんが、住んでいるまちの活動にもっと参加できるようにします</p> <p>留学生のみなさんが、卒業しても鹿児島市で働けるようにします</p>	<p>・鹿児島市に住んでいる人に、国籍や民族、文化の違いを認めて、外国人も日本人も助け合うことの大切さを知らせます。</p> <p>・市役所の人たちが、「やさしい日本語」などをもっと勉強します。</p> <p>・自分と違う文化の人たちとなかよくなれるようなイベントをします。</p> <p>・外国人と日本人がなかよくなれるようなイベントをします。</p> <p>・留学生が働く会社を決めるときのために、会社を見学できるようにします。</p>
<p>IV</p> <p>外国人も日本人も一緒になかよく暮らす方法を、みんな協力して考える</p>	<p>外国人のみなさんが安心して鹿児島市で生活できるように、市役所の中でよく話し合います</p> <p>外国人のみなさんが安心して鹿児島市で生活できるように、国や鹿児島県、いろいろな団体と協力します</p>	<p>・市役所で話し合いをするための会議をします。</p> <p>・国や鹿児島県庁、会社など、市役所以外の人たちともよく話し合います。</p>